

第249回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和元年6月10日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
小笠原 伸 (副委員長)
君島 理恵
青木 敬信
篠田 裕次
新井 啓泰

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)
香川 真史 (参与)
佐藤 望 (放送部長)
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月26日(日)に放送した特別番組「インプロ～平成にあった大切なもの～」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

時代が令和に変わった今、改めて「平成」という時代をテーマに、男女の会話から「時代の流れ」や「男女の価値観の変化」そして「大切にしていたもの」を振り返り、再確認しようという番組。当時は彩った音楽とともに、再現ドラマ風にお送りします。

4月に放送していた10分番組「インプロ～時の旅人～」を繋ぎ合わせ、1時間の特別番組としてスタジオナレーションや街頭インタビューなどを加えました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：こういった番組を作るのは簡単ではない。やってみようと企画し、チャレンジするのは良い。

委員：色々な時代の材料を集めて盛り込んである。懐かしい気持ちになりながら聴くことができ、改めて平成を振り返ることができた。

委員：須賀さんの語りは上手。その時代っぽく、嫌味なく演じていた。

委員：年号が変わった今、平成という時代を1つにして振り返る。
こういう番組はあっていいと思う。

委員：オープニングの作りが良かった。映画のワンシーンのようで、期待感が大きくなった。
しかし、その分内容が軽すぎた印象。

委員：時代を振り返るのはテレビだとわかりやすいが、ラジオでやるのはチャレンジだったと思う。
ラジオドラマのような効果音がなくても、充分ストーリーを楽しめた。

委員：せっかくのいいネタなのに、サラッと流してしまう部分があったのもったいない。

委員：平成を振り返る時代背景部分で、3人の会話が少し退屈を感じる部分があった。
実際にその時代に流行った言葉遣いをしてみたら、印象も違ったのではないか。

委員：男女間の会話から、車、通信などをキーワードとして振り返るのは、新鮮で良かった。

委員：東日本大震災を取り上げたのは良かったが、少しサラッとしていたように感じた。
また、最後の街頭インタビューは、何を伝えたいのかよくわからなかった。

委員：全体として、意欲的な企画。作り手の意気込みを感じる。

委員：凝った作りの分、もう少しシンプルに伝えられたら良かった。
最初は何が始まったのか、よくわからなかった。

委員：芝居の部分とスタジオの部分の違いが分かりづらかった。BGMなどの工夫で
もう少し、違いをはっきりすると良かったのでは

委員：トークの部分は、もう少し時間をかけてゆっくり振り返る時間があったほうが、
バランス的にも良いと思う。

委員：芝居部分からトーク部分へのテンションの切り替えが難しいように感じた。

委員：芝居中の会話が面白かった。ラジオやメディアのことも入れても面白かったのではないか。

委員：10分番組を再編集して55分の特番との事だが、この4つの年を選んだ理由が気になった。

委員：4つの時代を別々に聴いていたら良かったが、特番でまとめて聴くと全て繋がっているため同じ出演者がそれぞれの時代を同じ年齢設定で登場するため、何歳になっているのか？困惑した。

委員：面白みがあり凝っている番組だが、凝りすぎた印象で盛り込みすぎの感もあり、何を伝えたいのか分からなかった。

委員：選曲・まとめかた・掛け合いが良かった。

委員：非常に良い取り組みだが、複雑な内容もあった。
リスナーにどう聴かれるのか考えることも必要。

委員：「女性が強い時代」という話があったが、パーソナリティの主観なのか、ジェンダー問題といった社会的背景を勉強して言っているのか気になった。
しっかりしたデータなど裏付けがあつての表現が必要ではないか。

委員：震災の話題を話す際に、声のトーンが低く落とす感じだがどうなのか？いつまでこのトーンで続けていくのか？局として震災の話題の際のトークのトーンの方法は、ある程度、何年後をめぐりにして変えていってもいいのではないか？

委員：これからも新しいことにチャレンジしていく番組を作っていただければと思う。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を7月8日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 6月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし